



友だちいっぱい

自然がいっぱい



笑顔

元気

思いやり



社会福祉法人 富山YMCA福祉会
幼保連携型認定こども園

萩浦保育園

重要事項説明書



YMCAのビジョン

互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

YMCAのスローガン

みつかる。つながる。よくなっていく。

YMCAの概要

YMCAは、Young Men's Christian Associationの略ですが、日本語ではキリスト教青年会と呼びます。1844年イギリス、ロンドンで誕生しました。

産業革命の中、疲れ果てた青年の人格的成長、生活改善を願って始まった青年運動は、一気に世界へ広がり、今では国際青少年団体として、世界120の国と地域に組織され、6500万人が活動しています。わが国では1880年東京YMCA、富山YMCAは初代理事長、鷹取健次郎（北日本新聞社社長）、亀谷凌雲らによって1951年に設立されました。現在34都市、37大学にYMCAが組織されています。

YMCA創立者ジョージ・ウィリアムズは、熱心なクリスチャンでしたが、YMCAの活動は、隣人に仕える実践の場でした。イエス・キリストの愛と奉仕の姿に学びつつ、その具体的な活動がYMCAであり、決して伝道、布教の活動ではありませんでした。1855年第1回世界YMCA大会がパリで開催された時のスイス代表が、後に赤十字を創立したアンリ・デュナンでした。YMCAは、一貫して同様の姿勢を持ち今日まで活動を続けています。歴史を見ても分かるように、行政や社

会一般が取り組む前に、宗教的な動機により、慈善事業、福祉活動、教育活動が先駆的に行われました。

また、青少年の精神、知性、身体（YMCAの赤三角はこの3つを表しています）の調和のとれた成長を願い、体育活動、野外活動（教育キャンプ）、社会教育、職業訓練などの活動を展開し、北米においてバスケットボール、バレーボールが生み出されました。イエス・キリストの愛と奉仕の姿に学ぶというキリスト教精神を基盤に持ちつつ、宗教を問わず、YMCA活動はすべての人に開かれています。

現在、日本のYMCAは、公益法人としての役割を担っています。富山YMCAでも社会福祉法人と公益財団法人を有しています。全国ではウエルネス（体育事業）、語学教育、専門学校、福祉活動を行い、運動として奉仕・支援活動、募金活動、国際交流活動を活発に展開しています。全国約80ヶ所の保育園、幼稚園、こども園を運営し、全国約50ヶ所の学童・アフタースクール事業を実施しています。

YMCAは、多様なサービスやプログラムを通して子育て・子育ての両面から子ども一人ひとりの成長に寄り添っています。

概要

名称	社会福祉法人 富山 YMCA 福祉会 萩浦保育園	社会福祉法人認可	平成16年6月1日
開園年月日	平成17年 4月1日	経営主体	社会福祉法人 富山 YMCA 福祉会
理事長氏名	島田 茂	園長氏名	網谷 美智代
認可定員	145名 (内1号認定5名)	利用定員 (年齢別)	2号認定 (3,4,5歳児) 84名 1号 5名 3号認定 (0,1,2歳児) 56名
職員数	49名	特別保育の実施状況	延長保育 一時保育 休日保育
その他 事業	子育て支援センター 学童保育	嘱託医	内科: 万見新太郎 歯科: 城川和夫 薬剤師: 増山 晃子
職員への研修実施状況	園内研修・一泊職員研修の他、全ての職員が様々な研修に積極的に参加し、保育の質の向上に努めています。		

クラス編成 (2023年4月現在)

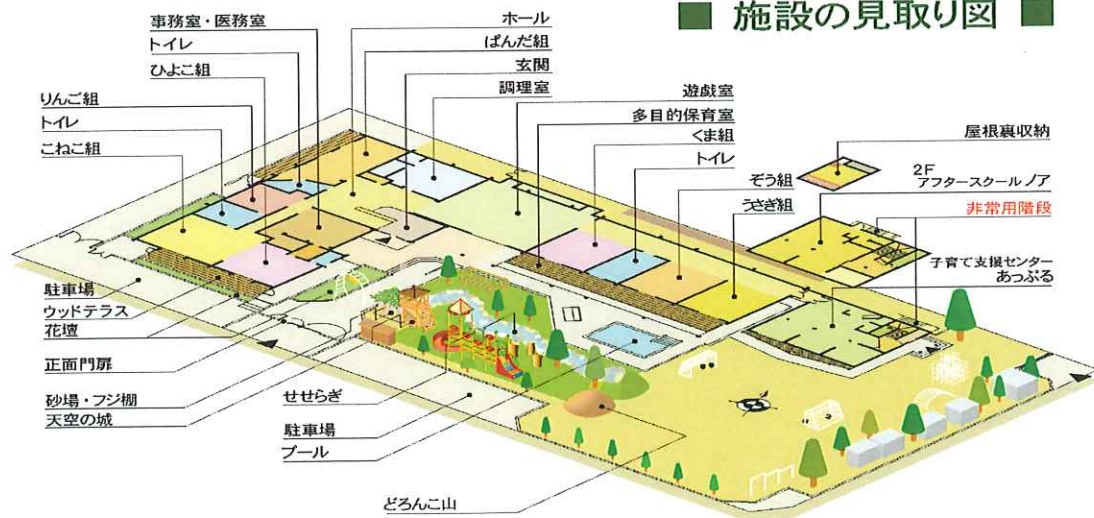
職員数 (産休・育休含む)

理事長 島田 茂 園長 網谷 美智代 副園長 山崎 由美
事務長 竹中 成行 主幹保育教諭 渡邊 由美子

理事長	1
園長	1
副園長	1
事務長	1
主幹保育教諭	1
指導保育教諭	3
保育教諭	28
保育士	1
保育補助員	3
看護師	1
栄養士	3
調理員	3
事務員	1
用務員	1
計	48

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
うさぎ組				9	8	10	27
ぞう組				9	9	9	27
くま組				9	9	9	27
ぱんだ組			23				23
こねこ組		18					18
ひよこ組	4						4
計	4	18	23	27	26	28	126

施設の見取り図



子ども時代に一番大切なこと
それはありのままの自分を『大好き』と
言ってくれる人達に囲まれていること
笑っている時も・泣いている時も・怒っている時も
いたずらしている時も・わがまま言っている時も
『大好き』のメッセージを送り続ける・・・
そんな環境を作っていきたい
子育ての主役はお父さん お母さんです
私たちは主役が輝けるよう地域の方々と一緒に応援します
『あなたは 光の子です 光の子らしく歩みなさい』
— エフェソの信徒への手紙第5章8節 —

理念

- キリスト教の「愛と奉仕」の精神をもって一人ひとりがかげがえのない存在として、子どもの個性を尊重し豊かな感性・自分で考え行動する力・思いやりの心を育み、子どもも保護者も職員も共に育ち合うことを大切にします。

教育・保育方針

- 自然豊かな環境の中で互いに育ち合い、思いやりやいたわりの心、驚き“なぜ”と
思う感性、自分たちで考え遊ぶ力、学びに向かう力を養います。
- 育児と仕事の両立支援、教育の補完、地域の子育て支援の取り組み家庭との信頼関
係を深めながら温かい園づくりを目指します。

教育・保育目標

- 自分で考えて、行動できる子ども
- のびのびとたくましい子ども
- 思いやりをもって友達と遊べる子ども

提供する教育・保育の内容

- ①環境を通して養護と教育を一体的に行う保育の実践に努めていきます。職員は子ども一人ひとりを尊重し、命を守り、情緒の安定を図りつつ、乳幼児にふさわしい経験が積み重ねられるよう援助していきます。
- ②全ての子どもが、日々の生活や遊びを通して共に育ち合い、個別に配慮を必要とする子どもも安心して生活できるように、職員の共通理解のもと、心の通いあう思いやりのある保育に努めていきます。
- ③地域の様々な人や場や機関などと連携を図りながら、地域に開かれた保育園を目指し、子育て支援センター「あっぷる」を通じて、地域の子育て力の向上に貢献していきます。
- ④小学校との円滑な連携に配慮し、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うために、子どもの発達の連続性を考慮した教育及び保育に努めていきます。卒園後も継続してアフタースクール「ノア」を通じて、放課後健全育成に貢献していきます。

教育・保育の特色

■縦割り保育をします

いろいろな年齢の子どもたちとの触れ合いを通して互いに影響し合い、助け合う心、思いやりの心を育てます。発育、発達に応じた年齢別の活動も取り入れます。

■インクルーシブ保育をします

配慮を必要とするお子さんと一緒に生活や活動をしながら、お互いの個性を認め合い、補い合い育ち合う力を育みたいと願っています。また、お子さんの成長に関わる様々な相談も受けています。

富山市恵光学園、富山県リハビリテーション病院・こども支援センター、富山大学、言語聴覚士との連携も取っています。

■YMCAならではの学びの機会を提供します

YMCAの専門性を活かした、英語(Y's. F a m.)・体操・サッカーを日常活動の中に取り入れています。また課外活動として開講しています。

■外部講師を招いての活動の場を提供します

- ミュージックケア(2・3・4・5歳児)
- お茶のおけいこ(5歳児)
- 言語指導(希望に応じて)

■地域の方々との交流の場を提供します

小・中・高校生や地域の人々、高齢者と一緒に遊んだり生活したりし楽しい交流を通して健やかな成長を育んでいます。



保育園の1日

- 登園 「おはよう」元気に挨拶を交わし、持ち物を自分で片付けます。
- 自由遊び 園庭、遊戯室や保育室で自分が選んだ好きな遊びを十分楽しめます。
- 人数調べ 当番(5歳児・4歳児)が毎日人数調べをしています。
- 集まり クラスみんなで出欠調べをしたり、手遊びや歌を歌ったりします。
また、これからの活動や出来事についても話し合います。
- 食事 当番が食事の準備をします。また食べ物に関するいろいろなことを知り、正しい食事のマナーを身につけながら、みんなと一緒に楽しくいただきます。
- 教育・保育活動 指導計画に基づいた年齢別活動、異年齢活動を楽しみます。
- 午睡 身体をゆっくり休めます。



(一人ひとりにあわせ、0・1・2歳児は年間を通して、3歳児は4月～9月、4・5歳児は夏期に行います。)

- おやつ 食事を補うお菓子・フルーツ・飲み物や手作りおやつ等、楽しくいただきます。
(0・1・2歳児は午前にもおやつがあります。)

デイリープログラム

	1号認定	2号認定(標準)	2号認定(短時間)	3号認定(標準)	3号認定(短時間)	
7:00		早朝保育		早朝保育		
8:30	登園	自由遊び	順次登園 自由遊び	自由遊び	順次登園 自由遊び	
9:00						
9:30						
10:00	課題活動 戸外遊び 室内遊び	課題活動 戸外遊び 室内遊び	課題活動 戸外遊び 室内遊び	おやつ コーナー遊び 戸外遊び 室内遊び	おやつ コーナー遊び 戸外遊び 室内遊び	
11:30				食事	食事	
11:45	食事	食事	食事	午睡	午睡	
13:15	年齢別活動 自由遊び	年齢別活動 自由遊び	年齢別活動 自由遊び			
14:30	降園					
15:00		おやつ 降園準備 自由遊び	おやつ 降園準備 自由遊び	おやつ 降園準備 自由遊び		
16:30		降園			降園	
18:00		延長保育		延長保育		
20:00		延長保育終了		延長保育終了		



1年間の主な行事



季節	行事
春	進級式 入園式 子どもの日の集い イースター 保護者会総会 遠足(3・4・5歳児) 花の苗植え(5歳児) 春の自然体験(5歳児) 内科健診 歯科健診 運動会
夏	夏祭り 七夕 個別懇談会 水遊び・プール遊び
秋	遠足(3・4・5歳児・2歳児) シルエット観劇(5歳児) Yわい自然体験(5歳児) 秋の自然体験(4歳児) 生活発表会(3・4・5歳児) 保育参観 内科健診 歯科健診
冬	もちつき クリスマス 冬のお楽しみ会(3・4・5歳児) 冬の自然体験(5歳児) 保育参観 豆まき お茶会(5歳児) ひな祭り お別れ会 ありがとうの集い(5歳児・祖父母) 卒園式
その他	体操教室(2・3・4・5歳児) 誕生会 お茶のおけいこ(5歳児) 言語指導(希望に応じて) Y's. Fam. /イングリッシュデイ〈英語体験〉(3・4・5歳児) ミュージックケア(2・3・4・5歳児) 交通指導 避難訓練・災害時対応訓練 身体計測 *行事は変更することもありますので、毎月の園だよりでご確認ください。

▼せせらぎ遊び



▼運動会



▼自然体験



▼天空の城



★クリスマス

▼3歳未満児 遊びの様子



社会福祉法人富山 YMCA 福祉会 幼保連携型認定こども園 萩浦保育園 概況

施設番号	富山 NO67
TEL・FAX	437-7081・482-2210

1 概況

- (1) 幼保連携型認定こども園認可年月日 平成 29 年度 4 月 1 日
 (2) 開 所 年 月 日 平成 29 年度 4 月 1 日
 (3) 経 営 主 体 社会福祉法人富山 YMCA 福祉会
 (4) 所 在 地 富山市高島町二丁目 3-23

施設概況 建物構造 木造 1 階建
 敷地面積 3,061.4 m²
 建物面積 676.17 m²

(5) 沿 革

- ・昭和 41 年 4 月 1 日 富山市児童福祉施設として創立 定員 80 名
- ・昭和 43 年 4 月 1 日 増築 定員 110 名
- ・昭和 44 年 4 月 1 日 定員変更 定員 140 名
- ・昭和 46 年 4 月 1 日 増築 定員 160 名
- ・昭和 52 年 4 月 1 日 増築 定員 180 名
- ・昭和 56 年 4 月 1 日 定員変更 定員 150 名
- ・昭和 57 年 4 月 1 日 定員変更 定員 120 名
- ・昭和 59 年 4 月 1 日 定員変更 定員 90 名
- ・昭和 61 年 4 月 1 日 定員変更 定員 100 名
- ・昭和 62 年 4 月 1 日 定員変更 定員 110 名
- ・平成元年 4 月 1 日 定員変更 定員 100 名
- ・平成 2 年 4 月 1 日 定員変更 定員 90 名
- ・平成 7 年 6 月 19 日 移転改築 定員 90 名
- ・平成 12 年 4 月 1 日 子育て支援室増築定員変更 定員 120 名
- ・平成 15 年 4 月 1 日 定員変更 定員 130 名
- ・平成 17 年 4 月 1 日 社会福祉法人富山 YMCA 福祉会萩浦保育園へ民間移管
- ・平成 18 年 6 月 1 日 増築（乳児室）
- ・平成 24 年 4 月 1 日 子育て支援センター・学童保育新築 定員 140 名
- ・平成 29 年 4 月 1 日 幼保連携型認定こども園認可 定員 145 名

(6) 事 業

- ・昭和 57 年度 障害児保育事業
- ・平成元年度 育児教室開催（平成 8 年度より親子サークルと改名）
- ・平成元年度 老人福祉施設等世代間交流事業開始
- ・平成 3 年度 障害児通所事業開始
- ・平成 6 年度 異年齢児交流事業開始
- ・平成 9 年度 乳児特別事業開始（平成 10 年度より乳児保育事業）
- ・平成 11 年度 育児講座開始
- ・平成 11 年度 延長保育開始
- ・平成 12 年度 のびのび子育て事業開始（平成 16 年度より親子サークルと改名）
- ・平成 17 年度 延長保育（2 時間延長）開始
休日保育・年末保育開始
- ・平成 19 年度 子育てサロン事業開始
- ・平成 20 年度 子育て支援センター開設
- ・平成 24 年度 放課後児童健全育成事業開始
- ・平成 25 年度 体調不良児対応型病児保育事業